令和６年７月 31 日

日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価
（令和　６年度分）

川西市長　　様

所在地　　兵庫県川西市鼓が滝２丁目 14 番 36 号
法人名　　ソーシャルインクルー株式会社
代表者名　　松下　展千

上記の件について、下記及び別添のとおり提出します。

記

１　報告・評価シートを提出する事業所

事業所番号	事業所名	新規
2823100173	ソーシャルインクルーホーム川西鼓が滝Ⅰ	
2823100910	短期入所川西鼓が滝Ⅰ	
2823100173	ソーシャルインクルーホーム川西鼓が滝Ⅱ	
2823100910	短期入所川西鼓が滝Ⅱ	

※今年初めて提出する事業所については、新規欄に〇をつけてください。

２　本件に関する連絡先

担当者名	馬來　義浩
連絡先	072-792-1510

報告・評価シート

【報告日　令和　６年　７月 31 日】
【評価日　令和　６年 10 月４日】
事業所名　ソーシャルインクルー川西鼓が滝

項目	【 事業所記入欄】						
１　施設概要	事業者名	ソーシャルインクルーホーム川西鼓が滝		人員配置	日中		
	指定日	R4 年	２月	１日	世話人	生活支援員	
	所在地	川西市鼓が滝２丁目 14 番 36 号			19 人	4 人	
	定員数（共同生活援助）	20 人			（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	定員数（短期入所）	２人			5.0 人	5.0 人	
	共同生活住居数	２戸			看護職員の配置	☐ 有　☑ 無	人
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】			夜間		
	住居名：	10 名			世話人（夜間）	世話人（夜間）	
	住居名：	10 名			13 人	２人	
	住居名：	１名			（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	住居名：	１名			2.0 人	0.1 人	
	住居名：	名			看護職員の配置	☐ 有　☑ 無	人
	事業所の特色・独自の取組						
２　利用者状況（令和　年　月　日現在）	障害支援区分	人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
	非該当	０人			身体	総　数：	３人
	区分１	０人				主に日中 GH で過ごす人数：	０人
	区分２	０人			知的	総　数：	16 人
	区分３	１人				主に日中 GH で過ごす人数：	１人
	区分４	４人			精神	総　数：	３人
	区分５	11 人				主に日中 GH で過ごす人数：	０人
	区分６	２人			難病等	総　数：	０人
	合計	18 人				主に日中 GH で過ごす人数：	０人
	年齢構成	・６０歳以上　人	・５０歳代　８人	・４０歳代　２人	・３０歳以下　８人		
	障害特性等	医療的ケアの必要な者　人			強度行動障害のある者　６人		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価・質問	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
３ 地域に開かれた運営	利用者に対する指定計画相談支援の提供は別法人が行っているか。	（別法人等による指定計画相談支援の提供状況） 別法人等　（18）名中（18）名		
	実習生やボランティアを受入れているか。	（受入人数） 実習生　０名・ボランティア　０名 （受入事例） 現在基本的な支援の考えや虐待に対しての意識を理解する期間として考えており今期は職員教育の充実が最重要と考え実習生の受け入れは困難と考えております。	＜要望＞ 今後、事業運営が安定したとき、福祉人材の育成、確保の観点から、実習生等を積極的に受け入れて、地域に開かれた事業所をめざしていただきたい。 ＜要望＞ 他の事業所と異なり、強度行動障害のある利用者も多いので、先ずは職員の教育を優先するのは妥当であり、とても大切な事だと思います。 マンパワーや財源にも影響を受けると思いますが、「教育」だけではなく「福利厚生」なども一緒に検討して頂けますと幸いです。	
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	（交流機会の事例） 自治会開催の地域掃除参加 夏祭り・交流会参加予定	＜質問＞ 地域清掃、夏祭り、交流会の参加頻度及び参加者数を教えてください。 ＜要望＞ 来年度の義務化を見据え、地域連携推進会議の構成メンバーに事業所を見学して頂く機会についてもご準備・検討頂きたい（外に出ていくアプローチ	＜回答＞ 地域清掃・職員４名とタイミングがあった際に２名入居者様参加。夏祭り、交流会は職員が確保できずに不参加。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価・質問	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
			と同時進行で来所して頂くアプローチにて交流と透明化を図って頂きたい)。	
４常時の支援体制の確保	日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員の配置状況等） 日中１階２名・２階２名 土日１階２名・２階２名	＜質問＞ 強度行動障がい者を６名受入れていますが、２名の職員で対応にあたり、何か工夫していることがあれば教えてください。	＜回答＞ 支援時間をずらす事で少しでも１対１での支援を行うようにしている。
	災害時における、利用者への安全対策（マニュアル作成等）を講じているか。	（安全対策（マニュアル）や避難訓練の実施等の事例） 年二回の避難訓練の実施や火災通報装置、火災報知器定期点検、説明等を行っている。また地域町内会長と会話を増やし合同参加に向けて考えております。	＜質問＞ 安全対策（災害対応）マニュアルの作成状況を教えてください。 ＜要望＞ 害時に障がい者が安全に避難するには、地域の協力が大変重要だと考えます。昨年度にも指摘したが、地域主催の避難訓練への参加について、早期に実現できるよう地域町内会長と話を進めてください。	＜回答＞ 職員が入居者様になり、エレベーターが止まった場合の誘導や移乗動作方法を共有認識の為に不参加者には書類・口頭にて理解を促しています。
	体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	（緊急時の対応方法（急な体調変化等）） マニュアル作成していますので、定期的に演習し、通報者、様子、状況確認者等分けて行っている。	＜要望＞ 適宜、マニュアルを見直し実効性のあるものにしてください。	
	利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じ	（心身状況等を考慮した食事提供） 管理栄養士の下で献立を作成し、嚥下状態が低下されている入居者様に対してはご家族様・相談支援事業所と情報	＜要望＞ 利用者の状況を踏まえた支援ができています。引き続き、個々の状況を把握し、利用者の希望に沿ったきめ細や	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価・質問	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	た食事提供・支援しているか。	共有を行い必要に応じて個別の食事提供を行っている。	かな対応をお願いします。	
５短期入所の併設	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（通常受入人数） ２名		
	緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	（緊急受入人数） 10 名 （緊急受入事例） ご家族のレスパイトを受け入れており、また他市からの受け入れも行っております。月の加増率は 80%を超える月もあるが 0%の月もあります。現在緊急案件の受け入れは 10 名。	＜要望＞ 支援の質の向上を図りながら、緊急時の受入れを継続し、障がい者の地域生活支援の中核的な役割を担うよう期待しています。	
６支援の実施・質の確保	充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	（外出や余暇活動等の事例） ドライブやお散歩 誕生日会やハロウィン、クリスマス会等の実施。	＜要望＞ 計画的にレクリエーションを実施し、入居者の余暇活動を充実させてください。 ＜評価＞ 他と比較しても、緊急受入が多いのは、そのような対応も可能な職員の質の高さだと思います。	
	支援の質の確保に努めているか。 （研修等）	（参加した研修名等） 研修　（　25）名 虐待防止委員会、身体拘束委員会、虐待防止（月１回）、身体拘束、避難訓練、緊急対応、ハラスメント、障害特性、食中毒、感染症研修を年１回。全職員が参加をしている。	＜質問＞ 様々な研修を通じ、支援の質の確保に努めていますが、これらの研修を通じ、支援員の変化、あるいは改善された点等があれば教えてください。	＜回答＞ 研修を行う事だけでは職員間での理解を深めるためにお互いに気になった事柄を話し合う事で理解に深みが出ていると感じています。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価・質問	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	体験的利用の要望に対応しているか。	（体験利用人数） ０名 （体験利用の事例） 現在２床空室。8 月 1 日より体験利用を再開予定。		
	改善や見直しに取り組んでいるか。	（事業所における課題・助言を求めたいこと） 虐待事案の調査経緯から、支援方法や利用者情報の共有が職員間で不十分であったことが浮かび上がった。月１回のホーム会議で全職員から意見を募り、業務改善及び支援の見直しを行い連携力の向上、連動した支援対応に取り組んでいる。 （利用者・家族からの意見・希望） 現状ご家族様からの希望に対しては管理者から各相談支援に報告を行い支援の変更を行っている。	＜質問＞ 業務改善した内容及び効果を教えてください。 ＜要望＞ 虐待事案の発生は、障がいに対する理解不足、職員同士のコミュニケーション不足（情報共有）が要因の一つです。様々な研修やホーム会議を通じ支援の質の向上を図っていますが、支援員同士の顔の見える関係づくりも重要です。ペーパーでの研修に加えて、グループワークも工夫してみてください。 ＜評価・助言＞ 全く問題のない事業所はないと思います。このような事案を通して事業所も成長する機会を与えられているのだと思います。経営者や管理職だけで判断するのではなく、全職員の意見を募るなどの取り組みは素晴らしいと思います。	＜回答＞ 会社主導の会議を職員主導に変化。職員が議題を考え司会進行・議事録・不参加者の研修資料作成を行う事で自主的な発言やコミュニケーションの増加につながる事で支援の共有が自主的に行われるように感じる。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価・質問	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
			私も含め、基幹や関係機関を頼って頂けましたら一緒に考えていきます。	
７利用者の権利擁護等への配慮について	利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	（金銭管理の支援方法） 事業所内金庫にて鍵を掛けキーBOX にて保管。 預かり金は撤廃しており、会社小口一括での請求を月末に行っている。管理者、マネージャー等での金庫、金銭の管理を行う。 （成年後見制度の利用支援及び利用者数） ・利用支援事例等（■有　□無） ・有の場合の支援内容記載 （利用者数　　１人） 金銭使用の場合は後見人へ連絡 定期的に連絡し月末、月初めに訪問していただき状況の報告を行う。日々の活動や訪問歯科、訪問診療等の報告も行う。		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価・質問	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。（個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等）	（利用者に配慮した支援、取組み） 事務所にて管理を行い、金庫にて重要書類等を預かる。キャビネット（施錠）に個人個人のお薬、基本情報や保険のコピー、契約書をファイリングして保管しています。 必要に応じご家族に連絡し、行事や作業所での活動についてお話し、合意等をいただくようにしています。	＜要望＞ 個人情報の管理を十分に注意し、保管してください。	
	虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	（虐待等に関する研修の受講状況） ホーム研修及び本社研修（職員全員） 月に一度、ご利用者様の行動を振り返りながら支援のあり方、虐待、権利侵害に当たらないか等を話し合う。 （虐待発生時の対応、発生後の対応等） 利用者の様子、状態確認を行い該当職員への聞き取りを行い、虐待疑義が発生した時点でご家族、行政、相談員へ報告する。	＜要望＞ 社内以外の外部研修も重要です。県や基幹相談支援センター等が実施する虐待研修に職員が参加できるよう工夫してください。 ＜評価＞ とても良い取り組みだと思います。	
８入居/退去状況について	報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定（流れ）が行われているか。	（報告・評価対象年度の入居者数） 18 人 ご本人様の要望、ご家族様の希望を受け、相談支援員や行政機関との話し合いで、入居体験をしていただき、生活状況や行動を検討した上で、ご家族、相談事業所に報告を行い本人の意思のもと入居の判定を行う。 （報告・評価対象年度の退去者数及び事由）	＜評価＞ 小さな事ですが、最初に「ご本人様の要望」と記入する事がとても大切だと思います。意識の高さが伺えました。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価・質問	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
		・退去者数　　２人 ・主な退去事由： 家族様の引っ越しに伴い。 ・主な退去事由： 身体状況の悪化により入院。		
９他の日中活動サービスの利用	ＧＨ内でどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をＧＨ内で過ごす利用者に対する支援・サービスの提供） 朝食の提供 居室の清掃 入浴、昼食の提供 余暇活動（オセロ、トランプの相手） おやつの提供 トイレ誘導 夕食提供（一部介助）		
	他の日中活動サービスの利用を妨げていないか。	（他の日中活動の利用状況） 他の日中活動サービスを利用（18）名中（17）名 （主な他の日中活動サービス種別・利用先） 生活介護 移動支援 現在１名事業所に通所しておらず生活様子を伺いながら事業所見学の調整をしている段階です。また休み時は 18 名中 6 名が外泊・移動支援を利用しており 12 名中 6 名がドライブに参加。6 名	＜質問＞ 週末の余暇活動について、事業所の年間計画を教えてください。	＜回答＞ 土・日いずれかで運転可能な職員がいた際猪名川町・一庫ダム周辺のドライブ。集団が苦手な方は職員と個別にて買い物を行っている。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価・質問	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
		は自室やリビングにて余暇活動を過ごされています。		
10 利用者の健康管理	日々の利用者の健康管理をしっかり行っているか。	（医師や看護師の訪問有無及び頻度） 月に１度訪問歯科・内科往診 （健康チェック方法について） 毎朝のバイタルチェック （血圧、脈、体温）、支援記録記入。 かかりつけ医相談、お薬の状況確認をご家族様・作業所にも随時報告を行っている。	＜追加質問＞ 医療連携について、病院や訪問看護などとの連携はどのようにされていますか。詳しく教えてください。	＜回答＞ ・グループホームの協力医療機関 ベリタス病院 ・個人で契約されている病院は、基本は月に１回の通院の方とホームへの往診あり。ホームに往診に来ていただいている方は、緊急時も連絡して往診していただけます。その他の方の緊急時は家族対応であったり、ホーム側が通院しています。 ・通院の体制は家族送迎、ホーム送迎、移動支援送迎の方がいらっしゃいます。 ・ホームの契約として訪問看護　月１回訪問で健康状態のチェック。 ・精神疾患の方で専属の拷問看護師来訪、毎週の方、隔週の方がいらっしゃいます。 ・訪問看護関係で個別の契約でホームでのリハビリを行っている方は毎週 OT、PT が来訪され、月に１～２回はその事業所の訪問看護師が状態の確認に来訪。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価・質問	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
11 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況の事例について） 担当者会議や相談事業所への定期連絡を行う		
12 その他	＜独自に定める項目を記載＞		＜質問＞ 共同生活援助における支援の質の確保のため、令和６年度の報酬改定において、「地域との連携等」が新設され、各事業所に「地域連携推進会議」の設置を令和６年度から努力義務化、令和７年度から義務化されることとなっています。地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れる取組を行うことで、支援の質の確保をめざしていくこととしています。貴法人の今後の対応をお聞かせください。	＜回答＞ 社内にて検討中です。
13（２回目以降）協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	（要望・助言の内容及びその対応） 報連相の徹底やご家族様に対しての報告を個々にて行い、信頼関係の構築に努めている。	＜要望＞ 強度行動障がい者を多く受入れているため、強度行動障がい研修を受けた職員の配置が求められます。当該研修に職員の参加を積極的に取り組み、その研修内容を施設内で共有するなど、質の高い事業所をめざしていただきたい。	

現在入居中 20 名の支給決定権者

・川西市　12 名・宝塚市　2 名・伊丹市　1 名・豊中市　1 名・猪名川町　1 名・大阪市鶴見区　　1 名　計 18 名(10 月 9 日現在)